

## 大気質測定結果について(平成26年度)

## 1 総括表

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)

	年平均値	日平均値の年間 98%値	環境基準等達成状況			備考
			環境基準	京都市環境保全基準		
	(ppm)	(ppm)		当分の間		
① 鴨川東	0.014	0.026	○	○	×	阪神高速
② 山科	0.014	0.028	○	○	×	阪神高速
③ 伏見測定局	0.016	0.033	○	○	×	京都市
④ 自排南 ※1	0.025	0.042	○	×	×	京都市
⑤ 山科測定局	0.013	0.026	○	○	×	京都市

(環境基準): 日平均値の年間98%値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下

(京都市環境保全基準): 日平均値の年間98%値が0.02ppm以下

(京都市環境保全基準 当分の間): 日平均値の年間98%値が0.04ppm以下

## 浮遊粒子状物質(SPM)

	年平均値	日平均値の年間 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超え た日が2日以上連 続したことの有無	1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超え た時間	環境基準等達成状況 ※2		備考
					長期的評価	短期的評価	
	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )		(時間)			
① 鴨川東	0.017	0.039	無	0	○	○	阪神高速
② 山科	0.020	0.046	無	5 ※3	○	×	阪神高速
④ 自排南 ※1	0.022	0.048	無	0	○	○	京都市
⑤ 山科測定局	0.017	0.043	無	0	○	○	京都市

## 環境基準及び京都市環境保全基準

(長期的評価): 日平均値の年間2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下ただし、年間2%除外値の内環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、非達成と評価する。

(短期的評価): 1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下

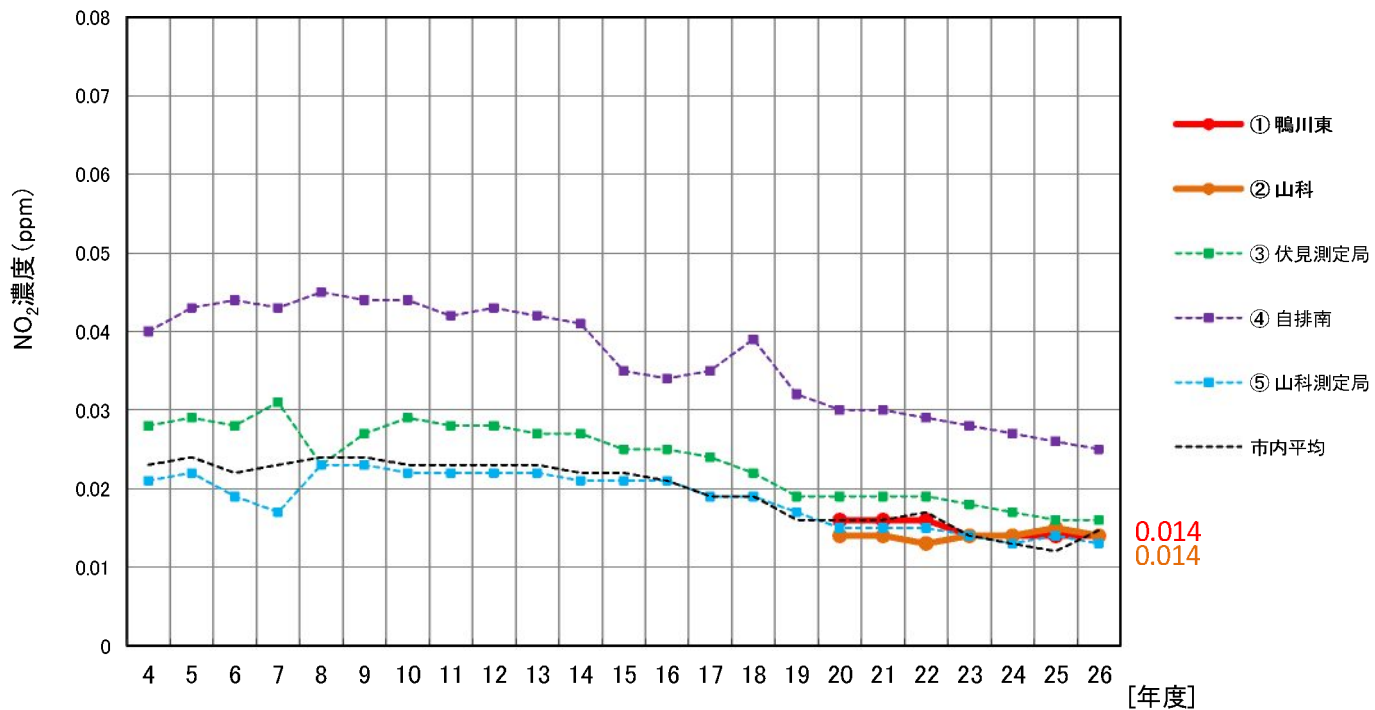
※1 伏見測定局におけるSPMの測定が、平成24年4月5日をもって終了した。そのため、SPMを測定している測定施設の中で、鴨川東ランプに最も近い施設である自排南(自動車排出ガス測定局)での測定結果を掲載する。

※2 浮遊粒子状物質(SPM)については、ある地点における1年間の測定結果が、環境基準に適合したかどうかを評価する場合、一般的には「短期的評価」ではなく、一年間で得られたすべての日平均値を対象とした「長期的評価」に基づいて行う。

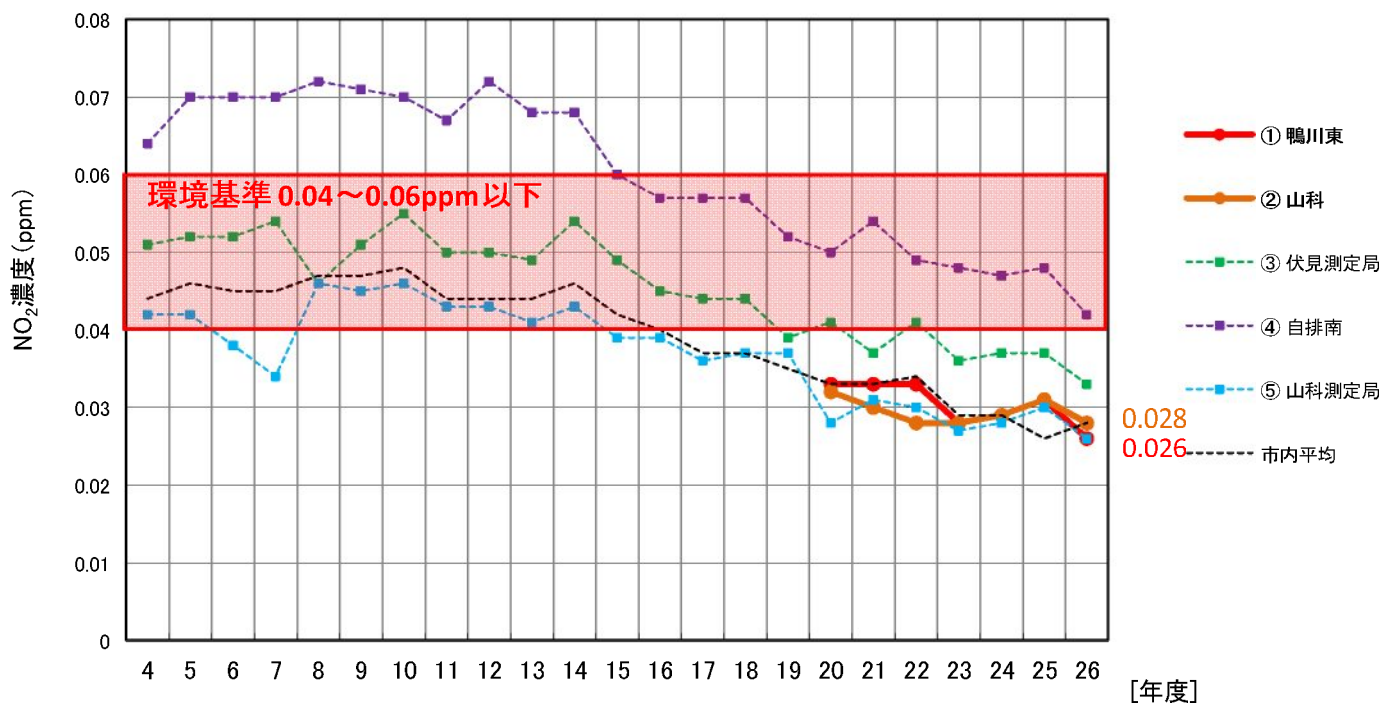
※3 10月11日(土)12時~14時の測定値(0.266mg/m<sup>3</sup>)、10月12日(日)11時~12時の測定値(0.482mg/m<sup>3</sup>)、10月18日(土)11時~12時の測定値(0.228mg/m<sup>3</sup>)、2月10日(火)11時~12時の測定値(0.233mg/m<sup>3</sup>)。測定地点での一過性・局所的なもので、高速道路以外の影響と考えられる。

## 2 二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の年間測定結果の推移

### 年平均値の経年変化

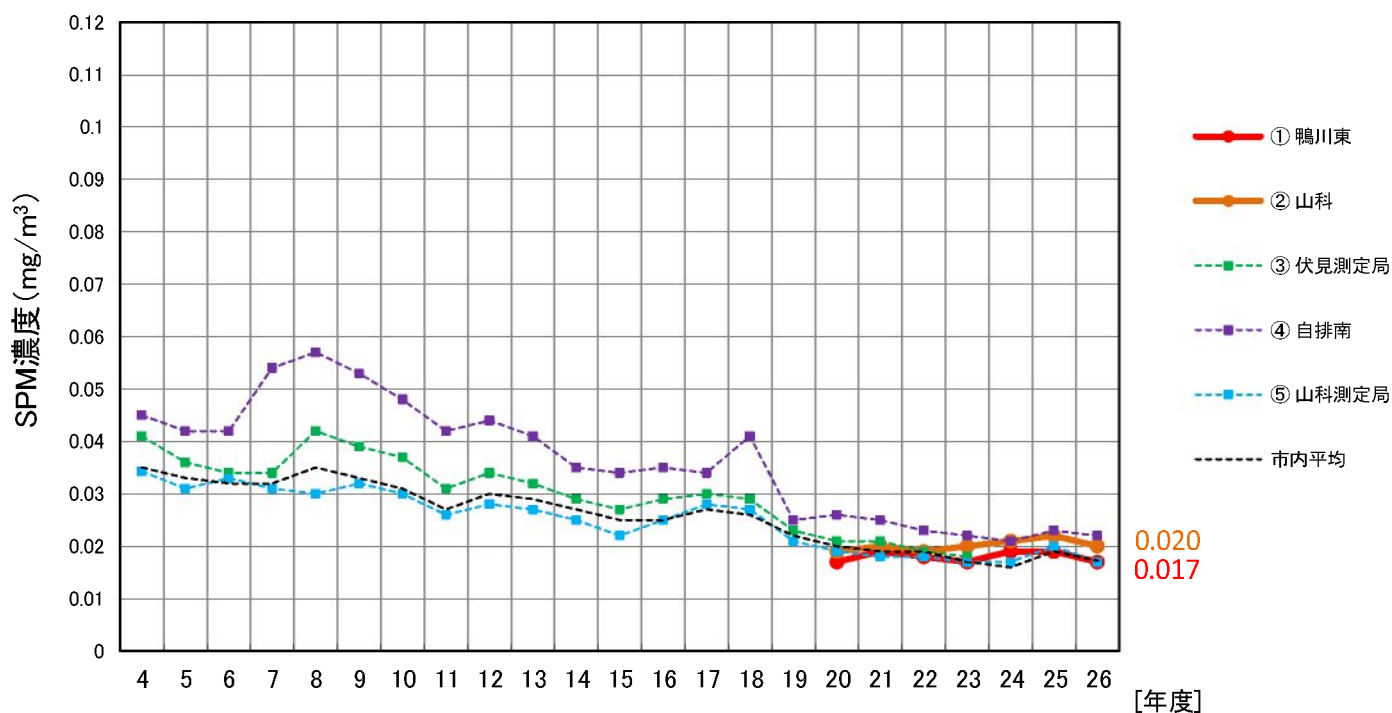


### 日平均値の年間98%値の経年変化

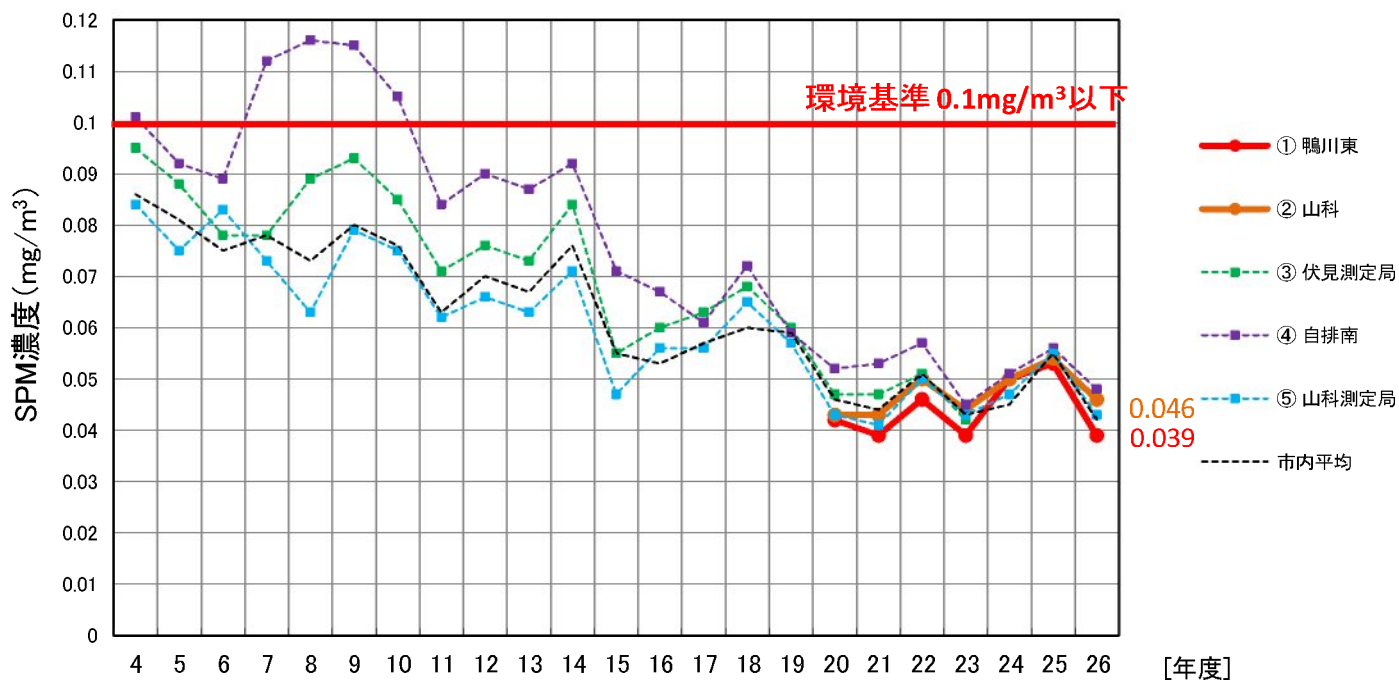


### 3 浮遊粒子状物質(SPM)の年間測定結果の推移

#### 年平均値の経年変化



#### 日平均値の年間2%除外値の経年変化



# 環境測定施設の位置図

- : 阪神高速道路(株) 換気所測定施設
- : 京都市 一般大気測定局
- ★ : 京都市 自動車排出ガス測定局

